

このたびは、YKKAPの商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

お願い 部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。

準備

●使用する材料

・クリアネット

長さ(m)	入数	幅(mm)	記号	備考
50m	1本	910	YK NET24PH0950	24メッシュ
		1470	YK NET24PH1450	
2.5m	1本	910	YK NET24PH09025	
		1470	YK NET24PH14025	

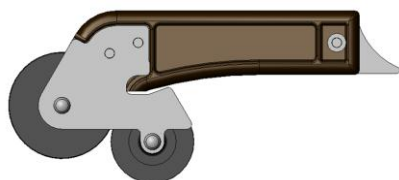
・網戸ロープ

長さ(m)	形状	径(mm)	記号	備考
250m		3.3	2K-22781-250	XMH(クリアネット用)
250m		5.2	2K-28659-250	2M(クリアネット用)

●使用する道具

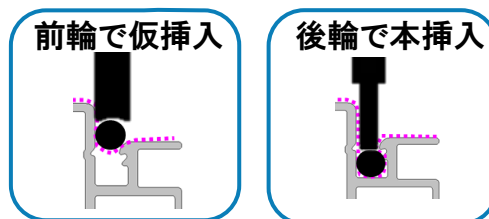
・網戸ローラー

ダブルローラー (2M・XMH)



※前輪: 仮挿入 後輪: 本挿入

		前輪	後輪
ローラー幅	2M	5.4mm	3.6mm
	XMH	3.6mm	2.0mm



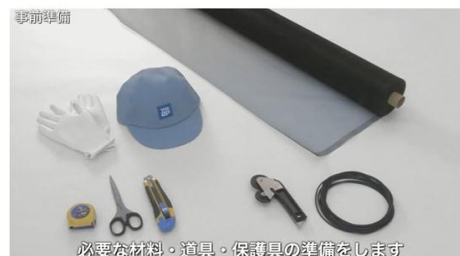
ダブルローラーは仮挿入と本挿入を同時にできるローラーになります。
2M用とXMH用でローラー幅が異なりますが作業方法はどちらも同じになります。

・ハサミ

・カッター

・スケール

・保護具



・ネット張替用突っ張り治具のセット

※突っ張り治具は、必要に応じて用意して使用して下さい。

ネット張替用突っ張り治具 (YS JPA-XMH-G1) 推奨品



部品交換説明書

網戸用クリアネット ダブルローラーでの張替要領 (2/2)



このたびは、YKKAPの商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

お願い 部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。

網張要領

1. 網張作業

専用のローラーを使用した場合の網張作業の、推奨作業方法を以下に記載致します。

① ネット準備

ネットをフレーム全体が覆うようにセットしハサミでカットします。

② ネットの位置合わせ

目ずれの確認ができるようフレームの端部にネットの端部を合わせます
(図1)



③ ロープの挿入

1辺目ロープ挿入時、ロープ端部は50mm程度のあまりを作っておきます。(図2)

ネットとロープを押さえながら型材に対し、ローラを平行移動します。
途中とまらずに一気にロープを挿入します。



POINT

ダブルローラは進行方向に平行移動させることでロープの仮挿入と本挿入が同時に行えます。(図3)



POINT2

ロープ挿入がしづらい場合は前輪での仮挿入と後輪の本挿入を2回に分けて行えます。(図4)



POINT3

ロープ挿入の際はローラを傾けずに垂直に保ち平行移動させてください。
ローラが斜めになっているとネット破れの原因となります。(図5)



悪い例:ローラがななめになっている

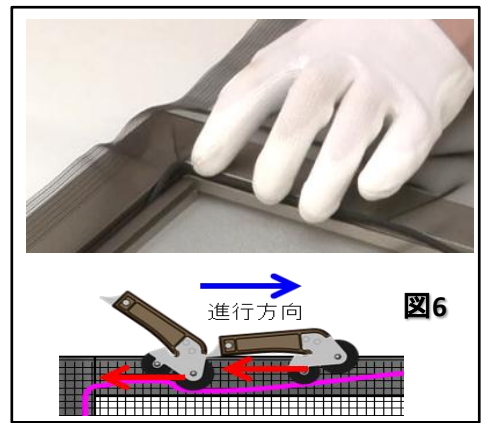
良い例:ローラが垂直になっている



ロープ挿入の際は

④コーナー部の処理

3cm程度引出、次の辺の位置決め(ロープ挿入)を行う。
ネットの位置決めは進行方向と逆方法にローラを動かす。(図6)
角の飛び出たロープを押し込みます。(図7)



2辺目、3辺目も同様の方法にてロープ挿入を行ってください。

POINT4

2辺目以降のロープ挿入の際は、ネットをローラーの進行方向に引張りながら矢印の方向にもよせるようにロープを (図8) 挿入してください。



POINT5

テラスの場合
3辺目の位置決め(ロープ挿入)は網目を3目程度ネットポケットに入れた後に行います。(図9)



ネットテンションの確認をします。たわみが大きい場合はコーナ
3辺目のコーナー処理をやりなおします。(図10)



④つなぎ目の処理

4辺目のロープを100mm程度取り外します。
1辺目で作っておいたロープあまり部分を4辺目に挿入(図11)
4辺目のロープ端部ともう一方の端部の重なりを5mm程度残し
ハサミでカットします。
ローラで繋目部分のロープを挿入します。
つなぎ目挿入後はみ出したロープを挿入します。(図12)



⑤確認

ネットのテンション・目ずれの確認を行います。
かまちのつづみをスケールにて確認します。(図13)



2. ネットカット

4辺目から1辺目へロープを挿入した逆順にネットをカッター
にてネットカットしていきます。(図14)



●網張作業詳細につきましては、ホームページのマニュアル動画をご確認下さい。

<http://www.ykkap.co.jp/pro/clearnet/>